

北の火打り

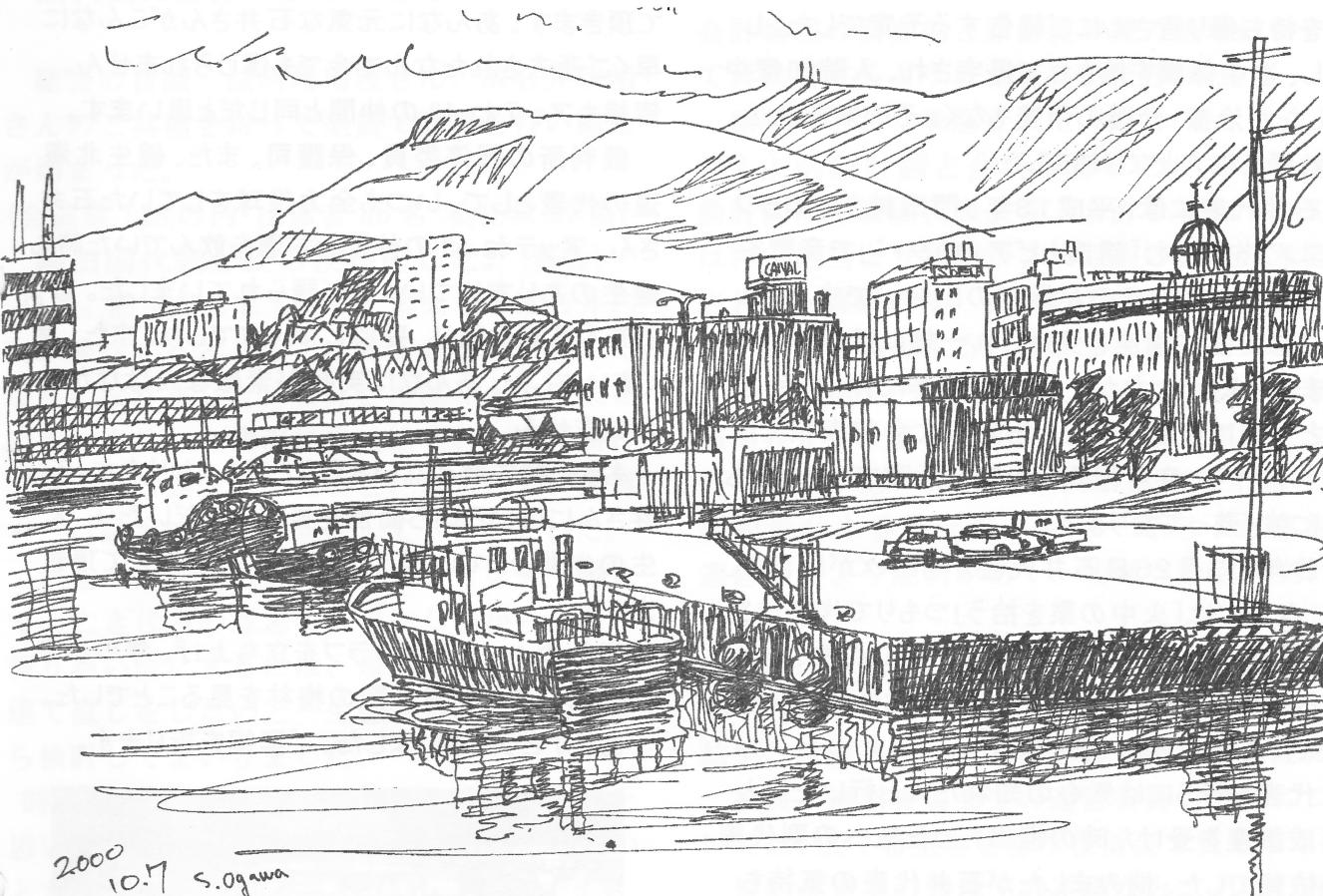
第36号

健康生きがいづくり
アドバイザー
北海道協議会

発行責任者

塙田幸男

題字 会員 塙本久二子（札幌市）



《港湾風景》 小川智（公募白日会会友）

健康・いきがい

『笑顔に拍手』

札幌市 北山公子

先日の新聞に、友人が満面の笑顔で載っていました。フランスの推理小説を翻訳出版したという。以前は英会話の仲間でしたがフランス語も始めたと聞いたのは何年前だったでしょうか。

週一の「やさしいフランス語」講座後、毎回喫茶店で推理小説の半ページを仲間と日本語に訳したものを持ち寄って、一番良いと思われる

ものを積み重ねた集大成で2年位かかったと言う事です。この好奇心の継続の心。「尊敬」の一語に値するでしょう。

「若い方とお話しするのが楽しく、それが健康の秘訣」と言うのが彼女の口癖。

お茶をたしなまれるため、いつも和服姿でお目にかかる事が多かったのですが、お祝いの電話をすると、今では耳が少し不自由になったご主人（画家）に同行し、フランスでの長期滞在のホテルの交渉や写生に適した場所探しに忙しいと話す声も弾んでいました。

ちなみに彼女は70歳です。

石井政治代表のご逝去を悼む

健生北海道副代表 岡田朋子

石井代表の突然の訃報に接し、驚き、悲しみ、これをたとえるものもなく、ただ暗夜に灯を失った思いでございます。

石井代表は去る3月17日から2ヶ月間の予定で四国88ヶ所のお遍路に出かけ色々なお土産話を持ち帰り皆さんにご報告する予定でした。しかし、途中体調を壊されて帰宅され、入院加療中でしたが治療・介護の甲斐もなく、そのまま旅立たれ帰らぬ人となられました。

石井代表には、平成13年、門田純さんのラフマニノフを愉しむ「講演とピアノの夕べ」で音響を担当してくださったのが最初の出会いです。それが縁で養成講座を受けられ一緒に活動を行ってまいりました。なかでも「アッテね43期」の皆さんと一緒に企画し実行した全国大会前夜祭では垂れ幕作り、音響担当と大変な活躍でした。今も心に強く残っております。

昨年の6月26日石井代表からFAXが届きました。なかには「火中の栗を拾うつもりで代表に立候補したいきさつが書かれており、「この先、どうなるか知りませんがとにかく放つておけない……」と気持ちが綴られておりました。

代表を行うには気心の知れた人と行いたいと養成講座を受けた時の担当だった私への副代表の依頼でした。悩みましたが石井代表の気持ちにうたれ微力ですが役員をお引き受けしました。

その後石井代表は10ヵ月間、すばらしい指導力・行動力で健生立て直しに邁進して下さいました。このままでは健生が破綻すると、事務所の移転を考え、3月14日エルプラザのブースが借りられることになった時は非常に喜ばれました。

あの時の笑顔が忘れられません。別れ際「帰つてきたら健生の事務所に出来る限り詰めて頑張るから、四国に行っている間、頼むね」とおっしゃった言葉が思い出されます。

健生に対する抱負も十分におありだったのに、そのお心に思いを致す時、痛恨にたえません。代表がいらっしゃった時には及ばないまでも会員の

皆様と力を合わせて健生北海道のために努力し、石井代表の遺志を継いでまいりたいと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

健生 アッテね43 会長 三宅洋一

一緒に富士吉田で学び資格を取得したアッテね43を代表して石井政治さんことを述べさせて頂きます。あんなに元気な石井さんがこんなに早くご逝去されたなんて今でも信じられません。皆様もアッテね43の仲間と同じだと思います。

裁判所の調停委員、保護司、また、健生北海道の代表として、いつも全力投球をしていた石井さん。アッテね43の仲間とお酒を飲んでいた時も健生のあり方について熱く語っていました。怒る時も真剣に怒り、妥協しない方でした。また、良く笑いました。あんなに笑顔が素敵な人はなかなかいません。

もう一緒に飲めないと悲しくなります。石井さんにはいろいろ面倒を見ていたいたり、人生の先輩としていろいろ大切なことを教えて頂きました。

健生ウォーキングクラブを立ち上げ、年の歩き初めはいつも平岡公園の梅林を見ることでした。

ありがとうございました。ご冥福を祈ります。



(平成18年 平岡公園にて 梅林を背にウォーキングの仲間と)

石井政治氏 略歴

平成16年7月 健生アドバイザー資格取得

平成19年7月 健生北海道代表に就任

平成20年4月 逝去（享年71歳）

平成20年度 定期総会 報告

日 時
場 所

平成20年5月31日(土) 13時
札幌市 かでる2・7

団体会員を廃止する
一般会員の会費は3,000円とする

新代表に岡田朋子さん、
副代表に嘉指 毅さんを選出する

総会の冒頭、故河崎瑞枝さん、故石井政治さんのご冥福を祈って全員で黙祷を行い総会が始まった。

(会員数128の内 出席者36名 委任状47名)

岡田副代表が次の挨拶をした。(要旨)
只今、黙祷をしましたが、本来ならば石井代表が挨拶するところ、4月13日突然お亡くなりになりました。石井さんは「火中の栗を拾うつもり」と代表に立候補され、2年掛けて魅力ある健生にしたいと、素晴らしい指導力と行動力で改革に邁進して下さいました。

私達は、深い悲しみと心寂しさを乗り越えて、亡き代表の意志を大事にしながら会員に判り易い会にするには、規約の改正、財政の建て直しをしたいと一生懸命会議を重ねながら検討してまいりました。

時間不足もあり、まだ、検討の余地があると思いますが、前向きな話し合いの場にしたいと考えています。

先日、石井代表の奥様より「皆様には大変お世話になりました」とお礼の電話がありましたので、この場を借りてお伝えいたします。

奇しくも、今日は、石井代表の49日にあたり、今朝、仏壇に手を合わせながらきっと代表もこの会場のどこかにいらっしゃるように感じました。それだけ一生懸命になって頂きましたので、今日の総会も是非、前向きなご意見や提案を頂戴したいと思います。

よろしくお願ひ致します

続いて、議長には三宅洋一、書記には長澤幸子・清水昇子、議事録署名人に木村寛・矢崎悦子の各氏を選出して議事を進めた。

1) 報告事項については、相坂副代表より活動報告、会計報告は秤谷担当より詳細に説明がなされ、会計監査は岡部監事より適正に処理されていると報告があった。

活動報告内容の充実化と整理について、また、会計処理の簡素化と原価償却費の処理について再検討するようにと意見が出された。

原案のとおり承認された。

2) 活動計画と会計予算については、活動計画は相坂副代表より、会計予算については秤谷担当より説明がされ原案のとおり承認された。講師謝礼、予備費(活動費)の支出について今後検討することとなった。

3) 規約の1部改正については、三岩事務局長より改正案提出に到った基本事項について説明があり、更に具体的な内容について規約検討小委員会のメンバーであった嘉指運営委員より説明があり、活発な論議が交わされた。

特に団体会員の廃止および一般会員の会費値下げについて真剣な討議が行われ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり決定された。

役員・運営委員会での運営委員の選任については、広く希望者を募り役員会で決定する。

規約改定案の表現上の不備なところは、早急に手直しをして完成させ会員に送付することとした。

4) 役員の選出

石井代表亡き後に、副代表の岡田朋子さんを代表に、欠員となる副代表に運営委員の嘉指 毅さんを選出することに満場一致で決定した。

総会終了後の交流会は「つぼ八駅前北口店」で開催され、岡田新代表の「健生のお母さん」として魅力ある健生作りに取り組みたいとの挨拶があり、石井前代表を偲び、久しぶりに顔を合わせて話し合い、交流する楽しいひと時となった。なお、総会の詳細は議事録をお読み下さい。
(報告 堀田幸男)

平成20年度 定期総会 報告

日 時
場 所

平成20年5月31日(土) 13時
札幌市 かでる2・7

団体会員を廃止する
一般会員の会費は3,000円とする

新代表に岡田朋子さん、
副代表に嘉指 純さんを選出する

総会の冒頭、故河崎瑞枝さん、故石井政治さんのご冥福を祈って全員で黙祷を行い総会が始まった。

(会員数128の内 出席者36名 委任状47名)

岡田副代表が次の挨拶をした。(要旨)
只今、黙祷をしましたが、本来ならば石井代表が挨拶するところ、4月13日突然お亡くなりになりました。石井さんは「火中の栗を拾うつもり」と代表に立候補され、2年掛けて魅力ある健生にしたいと、素晴らしい指導力と行動力で改革に邁進して下さいました。

私達は、深い悲しみと心寂しさを乗り越えて、亡き代表の意志を大事にしながら会員に判り易い会にするには、規約の改正、財政の建て直しをしたいと一生懸命会議を重ねながら検討してまいりました。

時間不足もあり、まだ、検討の余地があると思いますが、前向きな話し合いの場にしたいと考えています。

先日、石井代表の奥様より「皆様には大変お世話になりました」とお礼の電話がありましたので、この場を借りてお伝えいたします。

奇しくも、今日は、石井代表の49日にあたり、今朝、仏壇に手を合わせながらきっと代表もこの会場のどこかにいらっしゃるように感じました。それだけ一生懸命になって頂きましたので、今日の総会も是非、前向きなご意見や提案を頂戴したいと思います。

よろしくお願ひ致します

続いて、議長には三宅洋一、書記には長澤幸子・清水昇子、議事録署名人に木村寛・矢崎悦子の各氏を選出して議事を進めた。

1) 報告事項については、相坂副代表より活動報告、会計報告は秤谷担当より詳細に説明がなされ、会計監査は岡部監事より適正に処理されていると報告があった。

活動報告内容の充実化と整理について、また、会計処理の簡素化と原価償却費の処理について再検討するようにと意見が出された。

原案のとおり承認された。

2) 活動計画と会計予算については、活動計画は相坂副代表より、会計予算については秤谷担当より説明がされ原案のとおり承認された。講師謝礼、予備費(活動費)の支出について今後検討することとなった。

3) 規約の1部改正については、三岩事務局長より改正案提出に到った基本事項について説明があり、更に具体的な内容について規約検討小委員会のメンバーであった嘉指運営委員より説明があり、活発な論議が交わされた。

特に団体会員の廃止および一般会員の会費値下げについて真剣な討議が行われ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり決定された。

役員・運営委員会での運営委員の選任については、広く希望者を募り役員会で決定する。

規約改定案の表現上の不備なところは、早急に手直しをして完成させ会員に送付することとした。

4) 役員の選出

石井代表亡き後に、副代表の岡田朋子さんを代表に、欠員となる副代表に運営委員の嘉指 純さんを選出することに満場一致で決定した。

総会終了後の交流会は「つば八駅前北口店」で開催され、岡田新代表の「健生のお母さん」として魅力ある健生作りに取り組みたいとの挨拶があり、石井前代表を偲び、久しぶりに顔を合わせて話し合い、交流する楽しいひと時となった。なお、総会の詳細は議事録をお読み下さい。
(報告 堀田幸男)

★地方からのお便り★

net 北 み ら い

旭川市 藤田 样三

『笑顔で元気な例会を目指して』

道北支部設立記念として、「笑って元気になる！講演会」を開催しました。（2002年3月旭川・ときわ市民ホール）旭川発、最初のイベントは、目標100名を遥かに超えて150名近く賑らみ、聴衆の喝采を浴びて大盛況となりました。

この幕開けを機に、今世紀に生きる誰もが課題とする！“如何に元気で心豊かに長生きし、何を生きがいとするか？”を終局のテーマとして、川村代表を中心に定例交流会の各月実施を取り決めました。

すべては自主的にを基本として、組織のあり方を堅く考えず、理念を忘れず、一人ひとりが地域の中で健康生きがいづくりに貢献しよう！をモットーとしました。

✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

★おはこ会議＜快謹？？怪謹？？？

3月20日お彼岸の中日におはこ会メンバー11名がLプラザ研修室に集い、持ち寄ったばたもち、いなり寿司、パン、漬物、おやつ等を前に今年度はどの様な事をして行きたいか話し合いました。

最初に個人的に今迄行ってきた事や関わってきた事を簡単に話してもらいました。

ボランティアで老健施設を訪問して大変だと感じている人、レクリエーション協会でお手伝いをしている人、子育てサポーターを育成し、その修了生が活躍している話、また食育の勉強をしたので、退職後に健康生きがいづくりアドバイザーの資格ともども生かして活動して行きたいと言う思いの人など・・それにはアドバイザーの資格があることを外に訴えるため、名刺があると働きかけ易いなどの意見もあり、健康生きがいづくりおはこ会の共通名刺を作ることになりました。

今まででは、毎回集まる度に何か取り組みたいと話しても具体的に、いつ何をするという事が決まら

毎月の例会は報告事項に始まって、協議研修、課題提供、ミニ講和、俳句の会、時折、施設の慰問と多種多彩で在旭会員全員がほぼ皆出席で、夫々が持ち味を發揮しております。

“月例会 生きがい究め はや80回”

今年3月の例会は、これまでそば処高田家42回、ところを変えて味の白梅38回と、80回を数えたところであります。

時あたかも、団塊世代を沢山迎え、生きがい論議がにわかにたけなわとなる中、かつて学んだ知識も色あせてきたということで、4月例会では、財団の藤村局長のご指導をいただき、H19年のモデル調査研究事業を糧に生きがい論の見直し、情報武装を進めていく予定であります。

◎近くに来られたら是非味の白梅で晩飯をご一緒に！0166-22-0303（白梅）当月例会日がわかります。

>

札幌市 柳田 和子

ず時間切れで散会していたのですが、今回は具体的な話ができました。

斎藤克恵さんがメールでお知らせ致しましたように【しゃべり場ちゃつと】と名づけ、概ね60歳以上の方を対象に“美味しいお茶を飲みながらお話をしにきませんか”との呼びかけをおはこ会の仲間で手分けしてチラシとポスターでお知らせしました。どの位の方々が集まって下さるのかワクワク、ドキドキしています。

毎回、企画会議は皆さんが出した食べ物でおなかを満たしてから始めます。美味しいものを前にすると気軽に自分の思いを語り、良い提案が出て決まるのでしょうか？そのせいでどうか2回の（4月9日・23日）の企画会議で活動の全容や役割分担が決定しました。食べ物の力は大きい！！当日は食べ物の力にばかり頼らず、研修で勉強した事を活かして進めていけたら最高でしょう。

地域に生きる

恵庭市 本多理恵子

今回は、恵庭市で「健康塾」の事務局サポートとして10年間支え続けている、本多理恵子さんをお訪ねしました。

● 健康塾について教えて下さい。

私は、健康に長年こだわりを持ってきました。氣功と出会い、夫婦で学び、恵み野病院で入院患者さんにリハビリの一環としてボランティアをしておりました折、副院長の柴田先生から、患者さんの声を聞く場として「健康塾」設立の相談を受け、お手伝いを始め10年、56回を迎えました。

柴田先生は設立から軌道にのるまで、多くの医療・福祉等関係者に主旨説明し賛同いただく為、大変なご苦労をされました。講師の方々は医療関係はじめ弁護士・住職・太極拳・栄養士・気象台・図書館・音楽関係・画家・園芸等々多岐に渡っています。全人的医療、福祉、そして生き方に关心のある市民が創る、市民の会です。

● 設立の発想を教えて下さい。

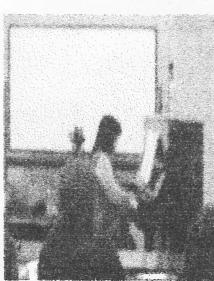
- 1・患者（一般市民）は医療、福祉の仕組みを知らない。
- 2・知りたい生の情報を得にくい。
- 3・講演のみは偉い先生方の一方通行で、気楽な質議応が出来ない。
- 4・あらゆる医療相談を気軽に出来る場所がない。
- 5・身近な質問を聞きたいときに聞けない。
- 6・病院でゆっくり話が出来ない。
- 7・先進的な西洋医療だけでなく伝統的な東洋医療代替療法まで知りたい。
- 8・高齢者、弱者が病院にかかりづらい。
- 9・安心して住める地域を作りたい。
- 10・利益誘導型でなく、社会貢献をしたい、そのような会が欲しい。

受付をする本多さん

ピアノ演奏



熱気の会場



● 活動内容を教えてください

- 1・勉強会・講演会・質疑応答
- 2・機関誌発行（A3）
- 3・全人的ネットワーク



FAXによる即時応答サービス

医療、福祉、健康に関する専門家の参加。専門医療機関、専門家の紹介

- 4・在宅ケア連絡会・・高齢者、弱者の為に
- 5・各種実行・・自らを高める、社会貢献の自覚ボランティア、氣功など

6・専門家・・あらゆる質問に対応。（看護師、ソーシャルワーカー、医師、歯科医師、薬剤師、鍼灸院、聖職者、各種ヒーラー、各種技能者）

- 会費500円と寄付で隔月第3日曜日に開催しています。毎回20～30人の参加。

● 健康塾の標語

癒して癒される。介護して介護される。

助けて助けられる。

そして心地よい、住みやすい地域へ

● 取材を終えて★

取材に伺った5月は“音と健康”と言うテーマで～五感を生かす熟年ピアノレッスン～でした。恵庭で音楽教室を主宰されている遠藤起代さんによる、誰にでも弾けるという魔法のようなメソットを使い、その場での実技は笑いあり、拍手ありでとても活気的な講演でした。バイオリンとピアノデュエットの生演奏のおまけつきです。（ラッキー！）

「健康塾」は考え方がとても理想的なことと、歴代の講演が豊富で、どれも興味深い内容を10年間継続されていることに、驚きと敬意を感じました。そこには、柴田先生をはじめ本多さんご夫妻、スタッフの方々の地道な努力と、暖かいお人柄が覗えました。テーマの選定や講師依頼、機関紙発行など、ご苦労も沢山あると言われましたが、「最終目標は講師の方が核となった市民ネットワーク作りです。」とやさしい笑顔でお答えくださいました。

“花の街・恵庭”。美しい地域に根ざしたネットワークがいつまでも続いて欲しいと思いました。

撮影：川村＊編集＊佐藤・荒井

研修会報告

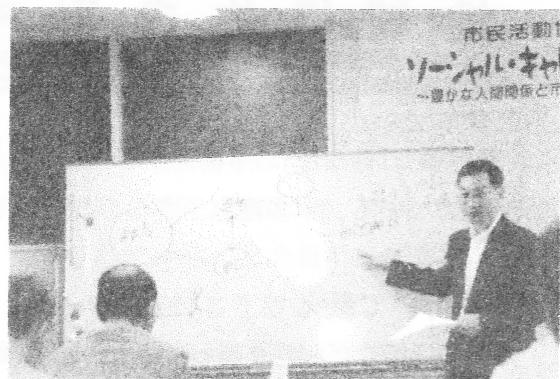
道立市民活動促進センター協働企画

「ソーシャル・キャピタルと地域づくり」

●3月22日(土) 13:00-16:00

北海道立市民活動促進センター（北3西7道庁別館西隣）

講師 宮崎 隆志 氏（北海道大学教授）



今回の研修会は、道立市民活動促進センターとの協働企画で、健生北海道の会員だけでなく、一般の参加者も数名参加している。「ソーシャル・キャピタル」とは社会資源（SC）。ことに人と人とのつながりを重視し、地域や組織、団体などで自らが機動力となって動くことのできる人的資源に注目したもの。

はじめに、北海道大学の宮崎隆志先生が、「ソーシャル・キャピタル」の理論について講演。レジメをみただけでも難しそうな中身だったが、参加者たちは必死にメモを取りながら聞き入っていた。

高度成長で自由で物や金で豊かになった私たちの社会だが、その影で個々が孤立し、温かい人ととのつながりも希薄になつていった。「個人は文脈の中にこそ活かされるもの」と宮崎先生はいわれた。他者との融合の中で「自己内他者」があるからこそ、存在が認められ、基本的な信頼関係が成り立っていくのだと・・・。

また健康・生きがいと支えあえる人的つながりは切り離すことはできない。孤立している人の死亡率はそうでない人の3倍であるという報告もある

という。悩みを聞いてもらったり、楽しい時間を一緒に過ごすといったサポートでストレスは軽減し直接的な効果につながるのだという。

支えあいの事例として生きづらさを抱える知的障害児の自立生活サポートや高齢者支援活動を行う和歌山県の「麦の郷」の事例をあげ、人ととのつながりが生み出す力、それを意識的に作り社会を豊かにする人的資源の重要さを学んだ。

講演後は、4つのグループに分かれてワークシヨップを行った。テーブルごとに（テーマ1）「自分の組織や団体で人的つながりについての悩みを出し合い」、続いてそれを受け（テーマ2）「自分自身がどう行動するか（したか）」を付箋に書き積極的に話し合った。

グループごとの発表では、さまざまな問題点や、それを解決するためのアイディアが出され、宮崎先生からもアドバイスがあり、参加者も納得の笑顔に。意見も活発にでて盛り上がっていたが、残念ながら時間不足のため第2回研修会に期待し終了した。（詳しい報告書は作成中です）



新年度 着任の挨拶



「健生北海道」の
お母さんとして

代表 岡田 朋子

この度の総会において代表に選任されました岡田です。石井代表が突然亡くなるという不測の事態により、このような大任を仰せつかり責任の重大さを心から痛感しております。

養成講座のお母さんとして、今までにたくさんの方と出会ったことは私の宝です。一人の力より二人の力、会員みんなが手を繋ぐことにより、素晴らしい力が發揮されると信じております。

微力な私ですが、健生のお母さんとして「私、健生の会員よ」と自信と誇りをもって言えるような魅力のある健生づくりに取り組みたいと思います。

皆様のお力添え、よろしくお願ひいたします。

役員会・運営委員会だより

第11回議題「規約改訂・総会・事務所移転ほか」

1. 規約改訂について

- 団体会員については決定せずに枠固いの形にしておき、総会で趣旨説明後、意見交換し合意を得て決めることで役員一致異議なし。

2. 総会に備えて

- 総会開催のご案内(案内図つき)
- 総会出欠はがき
- 総会次第・議案 各別紙参照
- 3号議案および4号議案については時間的に無理なので総会時に配布することにした

3. 事務所の移転について

- 旧事務所よりエルプラザ2階の札幌市民活動センターの事務所ブースへの移転が決定。
- 4月19日、旧事務所整理後、それぞれの預かり先に発送し、最後に新事務所への搬入を行った

4. そのほか

- 石井代表の後任について、総会までは岡田副代表が代行し、その任にあたる
- 総会で議場推薦などとあわせ選挙を行い決定する
- 石井代表をしのぶ記事を会報に掲載する
- 総会連絡時に年会費納入について、振込用紙、昨年度会費未納入者へのお知らせ及び退会者に対するメーリングリスト停止連絡手続きなどの関係リーフレットを入れる



「楽しく活動できる」
健生を目指して

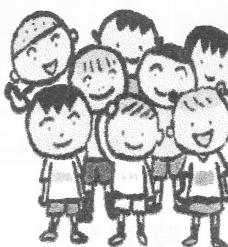
副代表 嘉指 毅

健生もまだ理解していない私が、副代表になってしましました。会員の皆様が“楽しく活動できる”健生として、会員と共に知恵を出し合っていきたいと思います。

札幌農学校の内村鑑三の言葉に「人は何のために生きるか：知恵のあるものは知恵を出せ、金のあるものは金を出せ、知恵も金もないものは汗を流せ」とあります。これは社会・世の中・人の・仲間のために全ての人が助け合い、「希望をもち誠実に勇気を奮って生きる生涯を残すこと」と言っています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

健生北海道・研修会のお知らせ

コミュニティ力 を



高めよう！

- 6/21(土) 9:30~11:50
- かでる2・7 1010号室
- ファシリテーター 菊田融

3月に北海道立市民活動促進センターと協働で開催した研修会「ソーシャル・キャピタルと地域づくり」では、ソーシャル・キャピタルの理論と共に、域社会や団体・組織などでの社会資源、ことに自らが発露となり行動できる人的資源や人と人とのつながりの重要性を学びました。

今回の研修会はその第2弾として、私たち自身が互いを活かしあい、つながり合える豊かな組織の要となるために「コミュニティ力」を高める研修会を開催します。会費は無料です。

【主な内容】

*アイスブレーキング・グループワーク

魅力ある豊かな健生北海道にむけ、夢や希望を語ろう。実現するための具体的なアイディアや、互いを高めあい支え合う方法を探り、思いを分かち合いましょう。

財団からのお知らせ

(財) 健生・生きがい開発財団 藤村 宣之

中国なのか、チベットなのか。クリントンなのか、オバマなのか。一体どういうことになるんだろう。

そんな年だから、「生きがいメッセ2008」。国のために、党のためにないけど、集まるんだ、幕張に!なにせ会場は950人も入るんだから・・・。

というわけで、「健康生きがいづくりアドバイザー全国大会」が11月2日(日)・3日(月・祝)、幕張(千葉県)のOVTA(海外職業訓練協会)で開催されます。

北海道からも、ぜひ大挙して、お越しください。

基調講演、分科会など、詳細については7月下旬に案内します。



~緑かおる夏!始めてみませんか!~

申込み・詳細は担当にお尋ねください。

☆研修会第2弾

6月21日(土)

テーマ「コミュニケーション力を高めよう」

場所: かでる2・7 1010号室 9時30分~

担当 岡田 011-846-6446

☆健生学習会: 毎月第2火曜日 18時

場所: Lプラザ2F 担当 田中 0134-52-4107

6月テーマ「ザリガニを見に行こう」高速バス

7月テーマ「裁判員制度」について

☆端布アート: 每月第4金曜日 13時30分

場所: Lプラザ2F 担当 宮岸 011-691-4380

6・7月は「ジャンボふくろうを作りましょう」

☆華うたクラブ: 月1回日曜日 10時

場所: 中央区第一グリーンビル4F「れい子の店」

担当 渡邊 090-9085-7751 6月は29日です

☆健生玉すだれ同好会: 每月第4土曜日 14時

場所: 社会福祉総合センター1F

担当 家守 011-664-2859

☆健生フラダンス同好会

毎月第二土曜日・第三金曜日 13時

場所: 手稲みずほビル4F 担当木野 011-695-5037

☆オカリナ「ブリエール」

6月21日・7月5日(土曜日) 13時

場所: Lプラザ4F 担当 堀田 011-664-9322

表紙に寄せて

小川 智

『港湾風景』

小樽港に架かる橋で、一番手宮寄りにある旭橋の上から描いたものである。

手前の岸壁は旧税関跡地等で、税関が左端の港湾合同庁舎へ入居(昭和40年)したため空地となっているもので、北海道の監視船や油槽船の係留バースになっています。

中央の建物は漁連で、建替えてニセ煉瓦色になり一応景観に配慮?した感じに見える。他の大きな建物はホテルで、臨港線沿いにノルテ、ソニア、カナルとなぜか横文字が揃った。ソニアは赤っぽいベージュ色でこの中では浮いている。

中央左寄りの水天宮の山には高層マンションが建ち、建設時には景観問題でおおいに揉めたものです。運河の象徴とも言うべき三角屋根の倉庫群は肩身狭く、顔を覗かせています。

実は、高校生の頃ここにあった税関を対岸から描いたスケッチが手元に残っており、いい雰囲気だったことを感じさせます。

何や可や言っても全体的に見ると、近景、中景、遠景と申し分ないまとまりがあるので100号の大作に仕上げ道展に出品しました。

清々しい秋景をカラーでお見せできないのが残念です。

編集後記

一年半前から腰痛で苦しみ健康の大切さを痛感している現在の私です。

健生との出会いで大勢の仲間のお世話になりましたが、会報の集まりにも参加できるようになりました。今は、私も何か支援活動したいという気持ちが沸いています。

会報編集部員はいつも明るく、和気藹々と仕事を進めております。

会員皆様のますますのご協力お願い致します。共に歩み続けましょう。

(記 塚本 久二子)

【事務所所在地・連絡先】

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目
エルプラザ内 事務ブース11
健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会
(電話・FAX) 011-807-5889

【現在会員数】 3月31日付

○正会員 131名	○一般会員 4名
○団体 1	合計 135名+1